

ながあいだよ  
長い間読み継がれた、  
ぜひ出合っしてほしい作品です

# お父さん、お母さんと一緒に読みたい本



『ちいさいおうち』 岩波書店  
バージニア・リー・バートン/ぶん・え

Eバ



ちいさいおうちは、いなかのおかの上で季節がまわるのをながめて「まちってどんなところだろう？」とおもっていました。そのうちに、まわりにひろいどうろができて・・・

『そらいろのたね』 福音館書店  
中川 李枝子/著 おおむら ゆりこ/画

Eヤマ



ゆうじが、たからものひこうきととりかえた、そらいろのたね。いえにかえて、にわにうめて、水をたくさんかけると・・・ちいさいいえが、できました！！

『長くつ下のピッピ』 岩波書店  
リンドグレーン/著 大塚 勇三/訳

リ



世界一つよい女の子！自由でゆかいで、元気いっぱい、そして弱いものにはやさしく、強いものにはより強く！それがピッピです。

『くまの子ウーフ』 ポプラ社  
神沢 利子/作 井上 洋介/絵

913カン



あそぶこと、たべること、かんがえることがだいすきなウーフ。ウーフのたくさんの「なぜ？」をいっしょにかんがえてみよう！

『昔の玩具大図鑑』  
時をこえて愛されるおもちゃ  
井上 重義/監修 PHP 研究所

759



昔のおもちゃや写真や遊び方がいっぱい！おじいちゃん、おばあちゃんが遊んでいたものから、今も残っているものまで！みんなが知っているおもちゃはあるかな？

『ぼく、歌舞伎やるんだ！』  
光丘 真理/文 佼成出版社

774



「こども歌舞伎」ってしていますか？演者がすべてこどもの歌舞伎で、江戸時代から受け継がれています。サッカーが好きな普通の小学生が、こども歌舞伎に挑戦！！

『出発進行！里山トロッコ列車』  
小湊鐵道沿線の旅 偕成社

686



千葉県房総半島の小湊鐵道で新しい里山トロッコ列車が走るようになりました。窓がなく、風と光を感じながら、自然の中をゆっくり、ガタゴト走ります。

『真田幸村』 六文銭の旗の下に  
国松 俊英/作 十々夜/画

289サナ



時は戦国時代。1614年からの大坂の陣で徳川家康をふるえあがらせ、いさぎよく散っていった真田幸村。戦国武将のなかでも人気の高い武将です。



## ホンキッズ



木のとしよかんは、「ほん+き」でとりくむ  
子どもたちを、おうえんします！



今回のホンキッズは防災とくしゅうだよ。夏休みを利用して、もしものときに、どうするかを、もう一度かくにんしよう。



『家族で学ぶ地震防災 はじめの一步』  
大木 聖子/著 東京堂出版 369

ぜひ、家族いっしょによんでほしいです。いつ災害が起こるか、わかりません。家族で災害にたちむかえるように、準備をしましょう。本の内容でたいせつなところはメモをとって、防災グッズにいれておこう！



『72時間生きぬくための101の方法』  
夏 緑/著 童心社 369



木のとしよかん  
『夏の筆致俳句会』  
みんなの俳句募集中！  
五七五のリズムにのせて、キミも一句ひねってみてね。くわしくは、木のとしよかん、児童コーナーまで！

